2013
Vol.6

九大別府病院だより

Kyushu University Beppu Hospital

❷ 新年の挨拶（牧野病院長）
❸ 温泉と健康に関するアンケートについて
❹ 外科医師着任の挨拶
採用職員の紹介
❺ 専門領域担当看護師の活動紹介
❻ 中央診療施設の紹介～放射線室～
❼ 病院の理念・患者の権利
クリスマス会報告

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

九州大学病院
別府病院長

牧 野　直 樹

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

当院は一昨年４月より「九州大学病院別府病院」へと病院名を変更し、二年目の新年を迎えることができました。昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

当院は現在、内科、外科、放射線科、整形外科、麻酔科の５診療科を開設しており、病院の経営状態は少しずつ改善のきざしが見えてきています。また昨年５月には、７対1の看護体制を構築し、より安全で手厚い診療体制を確立しています。

当院は昭和６年（1931年）に九州大学温泉治療学研究所の診療部門として発足して以来、80余年が経過していますが、私たち職員は九州大学病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を提供する」をさらに実践していくためには、職員一同がさらに知識を積み重ねてそれぞれの技術に熟練するとともに、患者さんへの思いやりの心を常に持つことが重要と考えています。そして、医療事故や感染の防止対策を徹底し、医療情報の公開、医療サービスの充実に取り組み、患者さんや地域の医療機関の皆さんから信頼される病院づくりを目指して努力してまいります。

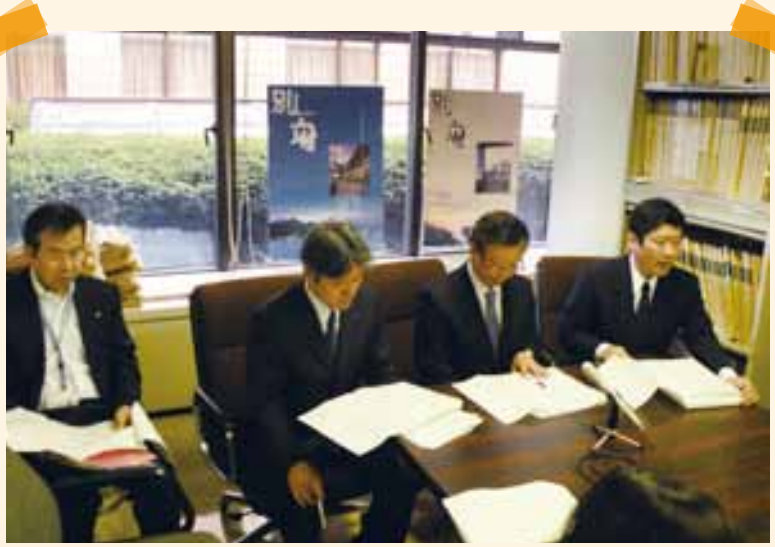
患者さんや地域住民の皆さん、地域の先生方からのご意見を真摯に受け止め、全職員が良質な医療を提供できるように努力していきますので、今年一年、さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

Report

「温泉と健康に関するアンケート」について

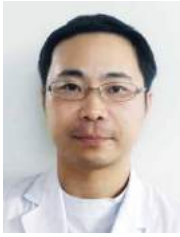
九州大学病院別府病院内科（循環・呼吸・老年病内科）では、別府市医師会及び別府市と協同で「温泉と健康に関するアンケート」を市内在住の65歳以上の方の中から約2万人の方を対象に実施しました。この事業は、平成24年度厚生労働省研究事業「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」に採択されており、3カ年計画で行われます。平成25年5月に別府市で開かれる「温泉気候物理学会」において、アンケートの分析内容についての発表を予定しております。

温泉は、古くから日本人に親しまれており、湯治（とうじ）と言われるように病気の治療に利用されてきました。現代においても、その価値は決して失われていないと思います。別府市は、泉源数、湧出量ともに世界トップクラスを誇る温泉都市として国内外に認知されています。先進医療が次々と開発される時代において、別府市という地の利を生かして、温泉治療を現代医療の中に生かす努力をしていくことは、そこに立地する九州大学病院別府病院の使命の一つでありましょう。このような観点から、温泉を医療に生かすための調査の第一歩として、当院では、別府市ならびに別府市医師会と協同で、65歳以上の別府市民２万人を対象に、温泉利用と健康状態に関するアンケート調査を実施致しました。平成24年11月29日現在、1万人を越す方々からご回答をいただいており、詳細な検討の後、信頼度の高い調査結果をご報告できるものと期待されます。紙面を借りて、市民の皆様にお礼申し上げますとともに、今後第２弾、第３弾のアンケート調査を続けられましたならば、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。この調査は、国際的に見ても前例のないものであり、厚生労働省からも支援を受けております。このような温泉の医療応用を通じて、別府が、高水準の高齢者向け医療提供都市のモデルとなることを目指してまいります。　（文責：循環・呼吸・老年病内科　前田豊樹）



平成24年10月29日、別府市にて『温泉と健康に関するアンケート』について記者会見

外科医師着任の挨拶



着任の挨拶
得意分野の紹介

外科　江口　英利

2012年10月より九州大学病院別府病院外科に着任いたしました1999年卒の江口英利と申します。

私は大分県出身で、大分上野丘高校、大分医科大学卒業後、大分医科大学第一外科に入局いたしました。その後、健康保険南海病院、大分赤十字病院、杉村記念病院（現大分循環器病院）、別府医療センター、高田中央病院、臼杵市医師会立コスモス病院など、県内の地方中核病院にて消化器一般外科の修練を積み、大分大学にて学位を取得した後、大分大学救命救急センター、大分大学消化器外科を経て、九州大学病院別府病院外科にやって参りました。

大分大学消化器外科に勤務の際、肝胆膵グループに所属し、主に食道胃静脈瘤などの門脈圧亢進症、肝胆膵良性疾患（胆石症など）や悪性疾患（肝癌・膵癌・胆嚢癌・胆管癌など）に関する診療に従事して参りました。肝硬変症などの門脈圧亢進症により発生する食道静脈瘤は、破裂すると大量の出血をきたします。また、肝予備能が低下している症例が多く、出血により肝不全へ容易に移行し、非常に厳しい予後をたどりますが、内視鏡的硬化療法や内視鏡的静脈瘤結紮術による内視鏡的治療により、比較的安全で高い予防効果が得られます。また、脾機能亢進症を伴うC型肝硬変症に対して腹腔鏡下脾臓摘出術を行うことによりインターフェロン治療を行うことができるようになり、発癌の予防、肝機能の維持が期待できます。

また、大分大学第一外科は腹腔鏡手術に精通した教室であり、消化管、肝胆膵の腹腔鏡手術を多く経験いたしました。腹腔鏡手術は傷が小さく、術後の痛みが少ないという患者さんにとってのメリットがあり、また外科医にとっては、今までに行われてきた開腹手術とはやや異なる手技を必要とすることもありますが、テレビモニターによる拡大視効果で微細な解剖が確認でき、スタッフ全員が手技を確認しながら手術が行えるというメリットがあります。九州大学病院別府病院外科におきましては三森教授も低侵襲手術である腹腔鏡手術を推進しており、胃癌、大腸癌などの悪性疾患や胆石症、鼠径ヘルニア、虫垂炎などの良性疾患のいずれにおいても積極的に腹腔鏡手術を施行していければと考えております。

1年半と短期間ではありましたが、救命救急センターに所属し、その間、県内の三次救急疾患に対応しておりました。このように、生粋の大分県人であり、医師になってからずっと大分県民皆様のための医療に邁進して参りました。これからも九州大学病院別府病院で別府・県北地域のために最新の高度医療の提供に努めていきたいと考えています。

小学生の頃に始めた野球を、下手ながら、大学生時代6年間行いました。現在も時折、草野球を行っております。ポジションはピッチャーで、大学生の時に人がいなくて先輩から無理矢理やらされましたが、楽しんでやっています。最近は体を動かすことがめっきり減ってきましたが、機会があれば参加したいと思いますので、是非誘ってください！

今回は、平成24年5月以降に採用となった職員の紹介をいたします。

①出身県　②所属病棟　③趣味・特技等　④自分の目標・目指している看護　⑤この病院の良いところ、コメント等

外科
藏重　淳二

卒業大学：熊本大学、平成16年度、熊本大学消化器外科
専門分野：食道・胃、外科
所　　属：日本外科学会、消化器外科学会、癌学会、癌治療学会
コメント：昨年の1月より外科の研究員としてお世話になっており、6月から医員になりました。皆さんに直接診療などでお会いすることはないかもしれませんが、外来の手伝いなどでお会いした時はよろしくお願いします。
趣味 等PR：食べ歩き、温泉巡り

5階病棟
森永　美穂

① 大分県
② 5階病棟
③ ドライブ、旅行、乗馬
④ 患者さんや家族のライフスタイルを大切にした看護を目指しています。また、自分の自信につながる技術や資格を身につけていきたいと考えています。
⑤ カンファレンスを積極的に行い、多くの意見を取り入れて、即、実践している点に刺激を受けました。環境も良く、眺望や温泉なども素敵です。

4階病棟
田北　陽子

① 大分県
② 4階病棟
③ ドライブ
④ 患者さんそれぞれの人生観や目標に合わせ、支援できるような看護を目指します。
⑤ 九大別府病院の雰囲気が柔らかいところが好きです。

5階病棟
田北　奈希

① 大分県
② 5階病棟
③ ソフトテニス
④ 自分の気持ちに余裕を持て、どのような状況においても、患者さんのニーズを把握し対応することができる看護を目指しています。
⑤ 中途採用でも教育制度（キャストNs）があり、安心して働く環境が整っていること。患者さんの状態変化に応じて、どの様な看護が必要かスタッフ皆で話し合うところ。

専門領域の看護を提供している看護師の活動について

緩和ケア認定看護師

佐藤　隼人

私は平成21年5月に緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。外科病棟で勤務をしていて、がんによる様々な苦痛に苦しんでおられる患者さんやご家族にもっと良いケアができないかと思っている時に、当時の看護師長から資格取得のための研修を勧められたのがきっかけでした。現在は4階病棟のスタッフとして勤務していますが、毎週金曜日には緩和ケアの活動時間を頂いて、他の病棟の患者さんのお話を伺ったり、外来看護師とがん患者さんについてのカンファレンスを行ったりしています。具体的には、がん性疼痛や全身倦怠感などの身体症状、不安や抑うつなどの精神的な問題について、主治医の先生や看護師、薬剤師さんなどと協力して苦痛の緩和に努めています。

褥瘡対策委員会委員

中村　のぞみ

当院では、褥瘡担当医師を中心に、看護師・管理栄養士による褥瘡対策チームを作り、褥瘡対策委員やNSTと連携した活動を行っています。
私の活動は、褥瘡の予防とケア、相談を受けること、様々な機会を通して教育指導を行い、研修会を開催することです。特に現状を見ながら耐圧分散寝具の種類や数を揃えること、皮膚の洗浄や保湿のケア、創傷被覆材の選択・使用について力を入れています。皮膚トラブルは全身的な管理を含めて適切にケアすることによりほぼ改善すると考えます。
良くなっていく過程が、目で見て実感できることが活動の喜びです。
毎週金曜日の1日は、全病棟に関わりケアを行っていますが、急な依頼があれば勤務調整をお願いして出来る限り速やかな対応を心がけています。これからも、褥瘡対策の充実に向けて、患者さんやスタッフに喜ばれる活動を行っていこうと思います。

フットケア担当（日本糖尿病療養指導士）

橋本　郁代

日本糖尿病療養指導士は、糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を持ち、医師の指示の下で患者さんに療養指導を行うことのできる熟練した経験を有し、日本糖尿病療養指導士認定機構の認定試験に合格した看護師等に与えられ、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を患者さんに指導する医療スタッフです。

皆さん、こんにちは、フットケアを担当させていただいております看護師の橋本郁代です。糖尿病療養指導士の資格を生かし、病棟では糖尿病の患者さんの療養指導を行っています。現在、糖尿病は糖尿病予備軍を含めると、40歳以上の３人に１人が糖尿病もしくは糖尿病の恐れがあり、まさに国民病ともいえる状況です。
糖尿病合併症の１つに足病変があります。ご自分の足でいつまでも健やかに歩けるようフットケアでは足病変予防のお手伝いを行なっています。巻き爪や魚の目、たこがきれいになり元気な足を見ておりますとうれしく思います。ちょっと足のことが気になる方、フットケアに興味がある方は、お気軽にお声をかけて下さい。
毎週金曜日の午前中、外来で活動しております。今後も足病変ゼロを目指し、がんばります!!皆さんのご利用をお待ちしております。

診療放射線室

間欠性跛行とは？
（かんけつせいはこう）

しばらく歩いていると、足や腰に痛みや痺れを感じ、歩き続けることができなくなり、休憩するとまた歩ける様になる症状がでる事をいいます。

原因として考えられることは、下肢の血管が閉塞してしまったためによるもの（閉塞性動脈硬化症）と、腰の神経がなんらかの原因で圧迫されてしまう（脊柱管狭窄症）2つの原因が考えられます。

診療放射線室ではこれらの原因（閉塞性動脈硬化症・脊柱管狭窄症）を調べるための検査として、造影剤を用いない非造影MRA（MRアンギオグラフィー）や、造影剤を用いたCTA（CTアンギオグラフィー）を行う事ができます。また脊柱管狭窄症に対する検査として、X線撮影や腰のMRの撮影する事もできます。

私ども施設のMR装置は1.5テスラという非常に性能の高い装置を使用して検査を行っており、検査時間も1人当たり1時間を取っていますので、腰の痛い方で長時間同じ姿勢を取ることが困難な方は、5・6分おきに休憩を取って頂きながら、検査を行ったりもしています。

またCT装置も64列マルチスライスCTを使用していますので、撮影時間は数分で終了する事ができ、なおかつ高分解能の画像を提供する事ができます。

検査を受ける場合には，当院の各診療科を受診して頂き、診察をした上で検査となります。（ただし整形外科を受診する場合は紹介状が必要です。）

治療に関してはそれぞれの診療科の判断にもよりますが，足の血管が狭くなっている場合には、ステント治療という金属の筒を、狭くなった血管内に入れ、風船で金属の筒ごと血管を拡張する治療も、当院の血管造影室で行う事ができます。

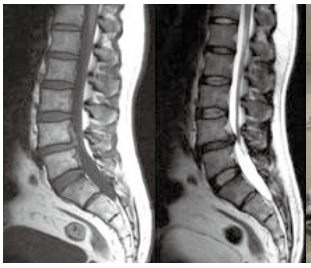
症状に思い当たる事がある方は是非一度診察を受けてみてはいかがでしょうか。

MR 装置

CT 装置

非造影 MRA

造影 CTA


腰髄 MRI

血管造影装置

（文責：主任診療放射線技師　吉川英樹）

病院の理念・基本方針

理　念　患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

基本方針

◆地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
◆全人的医療が可能な医療人の養成
◆国際化の推進
◆プライマリ・ケア診療の充実
◆専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
◆生活の質が向上できる医療の提供

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

患者さんの権利

1．個人としての尊厳、人権が尊重されます。
2．良質で適切な医療を平等に受ける権利があります。
3．自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受ける権利があります。
4．上記の説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択・決定する権利があります。
5．診断や治療方針について他に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオン制度を利用することができます。
6．自分の診療に関する記録など情報を得る権利があります。
7．プライバシーが尊重され、個人情報が保護される権利があります。

患者さんへのお願い

1．ご自身の健康状態及び変化は、速やかに正確にお伝えください。
2．検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。
3．全ての患者さんが快適な環境で適切な医療を受けることができるように、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
4．本院は、教育・研究病院であり、医療専門職の教育や新しい診断・治療法を開発するための研究を行っています。ご理解とご協力をお願いします。

Merry Christmas!

牧野病院長サンタ

クリスマスコンサートを開催しました！

X' mas の12月25日、入院患者さんへ、サンタさん扮する牧野病院長と新人看護師によるトナカイより、X' masプレゼントが手渡されました。その後、外来ロビーにおいて、クリスマスコンサートを開催しました。牧野病院長による挨拶の後、職員によるバイオリン、ピアノによる演奏と、アコースティックバンドによる歌と演奏をお聞きいただき、患者さんは楽しい一夜を過ごされたことと思います。

今年も、皆さんにとって良い年となりますよう、お祈りいたします。

九州大学病院別府病院　外来診療案内

（平成25年1月1日現在）

科名		診療区分	月	火	水	木	金
内科	免疫・血液代謝内科	リウマチ膠原病	生山 祥一郎(隔週) 平瀬 伸尚 有田 好之	生山 祥一郎 有田 好之 塩沢 俊一	生山 祥一郎 平瀬 伸尚 合田 英明 塩沢 俊一	病棟回診日	生山 祥一郎 平瀬 伸尚 有田 好之
		内分泌・糖尿病	生山 祥一郎(隔週) 有田 好之	生山 祥一郎 有田 好之	生山 祥一郎		生山 祥一郎
		血液病	平瀬 伸尚	――	平瀬 伸尚		平瀬 伸尚
		骨粗しょう症	生山 祥一郎(隔週)	生山 祥一郎	生山 祥一郎		生山 祥一郎
		消化器・膵疾患	有田 好之	有田 好之	――		有田 好之
	循環・呼吸老年病内科	循環器・呼吸器	樋口 義洋	牧野 直樹	樋口 義洋	小柳雅孔(第1,3,5)	牧野 直樹 小柳 雅孔
		老年病	――	前田 豊樹	前田 豊樹	前田豊樹(第2,4)	――
		睡眠時無呼吸外来	小柳 雅孔	樋口 義洋	樋口 義洋	小柳雅孔(第1,3,5) 前田豊樹(第2,4)	小柳 雅孔
		禁煙外来(全予約制)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
外科		一般・消化管	三森 功士 杉町 圭史 主藤 朝也 江口 英利	手術日	三森 功士 杉町 圭史 主藤 朝也 江口 英利	手術日	三森 功士 杉町 圭史 主藤 朝也 江口 英利
		肝・胆・膵	杉町 圭史 江口 英利		杉町 圭史 江口 英利		杉町 圭史 江口 英利
		乳腺	三森 功士 秋吉 清百合		秋吉 清百合		秋吉 清百合
		肛門	主藤 朝也		主藤 朝也		主藤 朝也
		セカンドオピニオン	――		要予約(第1,3)午後3:00～		――
麻酔科		疼痛外来(全予約制)	手術日	手術日	手術日	手術日	吉武 慎一郎 手術日
整形外科		脊椎外科	手術日	土井 俊郎 東野 修 樽角 清志	手術日	土井 俊郎 東野 修 樽角 清志	手術日
放射線科		放射線治療	渥美 和重	渥美 和重	――	渥美 和重	――
		放射線画像診断	平川 雅和	坂本 勝美	平川 雅和	平川 雅和	平川 雅和

初診・再診の受付時間 8:30～12:00

整形一初診 8:30～10:30
放射線治療一初診 8:30～11:00　※但し土日、祝祭日は休診(急患は除く)

◆◆ 地域医療連携室より　〈問い合わせ先のご案内〉 ◆◆

◆ CT・MR・内視鏡検査のご依頼 ◆

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

・検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆ 放射線治療のご依頼 ◆

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関するお問い合わせ

月～金　8:30～17:00　0120-272-518(専用)
TEL:0977-27-2055(直通)　FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital
〒874-0838　別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地
代表　TEL 0977-27-1600
URL　http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/